

発見！ HANZAN高校 ～WHAT IS THIS ?～

校内風景	解説
	①新体育館の緞帳は富嶽百景？ 図案は元香川県の美術教員濱野年宏 氏による。 飯野山、土器川をモチーフにしたものです。 創立 80 周年にあわせて平成 5 年に作製。 タイトル「Omega 80 廻天」(飯野山がΩ(オメガ)によって囲まれている)。
	②慰霊塔 昭和 11 年の冬に建立されました。 昭和 42 年に現在地に移転。
	③名水甚五郎出水 川原前場三名水のひとつ。地域開発に貢献した篤農家甚五郎翁に因んで命名されています。
	④創立 80 周年モニュメント 創立 80 周年を記念して、平成 4,5,6 年の卒業記念として造られました。 藤本ヨシカズ 氏の作品。
	⑤アンモナイトの化石 大理石は化石の宝庫。0 号館のトイレ入り口は、大理石で装飾されています。さあ、アンモナイトの化石を探してみよう。

	⑥校章 90 周年記念事業としてつけられました(平成 16 年)。 北浜正幸氏の創案で、昭和 24 年 4 月 1 日に制定される。デザインの 3 つの頂点は普通科、家庭科、農業科を意味し、これらの協力と団結を示したものである。なお凹三角形の各辺には「ハン山」の文字が付加されている。(学校沿革史)
	⑦校訓の碑 「真実にもものを考える ものを愛する ものをつくる喜びに 力と汗を惜しまない」 作：坂本一、揮毫：中原一耀 1)誠実にして偽りのない生活に徹してほしい願い 2)科学的態度によって知性を高めていく 3)自他の愛情から社会性を身につける 4)生産と開拓に重点を置き、勤労愛好の性格を形成していくこと (70 周年記念誌”育心”より)
	⑧愛媛県にも飯山高校があったの？ 香川県「讃岐の国」は明治の廃藩置県の後、「高松県」「丸亀県」「倉敷県(多度津)」「津山県」でスタートしますが、M4.11 の統廃合で、香川県が置かれました。その後、徳島（名東県）[M6.2～M8.9]と合併したり、愛媛県[M9.8～M21.12]と合併したりして、M21 年 47 番目最後の県として今の「香川県」ができました。本校の発祥の核は、明治 14 年発足の「愛媛県立飯山中学校」(M18 廃校)にあります。
	⑨農業高校時代の校訓の碑 「報徳唯一道」 報徳＝受けた恩や恩義に報いること 天の徳、地の徳、人の徳に報いる（感謝する）気持ちを持ちながら勤労すること、という二宮尊徳の思想に影響を受けていると思われます。

	⑩「心」の石組み 本館棟西入り口横の石庭の石組みです。 70 周年記念事業で中庭を造園したものです。 昭和 58 年築庭、長岡公 氏の設計。
	⑪ガラス窓が大きいのはなぜ？ 2 号館 3 階の一部の窓が大きいのは、2 号館と 1 号館をつなぐ廊下ができる予定でした。ここに廊下があれば、11 組の生徒さんが音楽教室に移動するのが楽だったでしょうに。
	⑫学校で野菜を販売？ 野菜の苗や果物を破格の値段で販売もしています。早朝から近所の方も来られています。隠れた行列のできるお店です。野菜・果物の味は抜群。販売日をチェックして、買ってみたいはいかがですか。
	⑬畜魂の碑 以前、本校には養豚場があり、その処理も行われていたようです。碑の西側の木造の建物にその面影があります。
	⑭校歌「赤い葺の学び舎は…」はどこに？ 農業高校時代、正門を入ってすぐのところにあった校舎の葺が赤瓦でした。旧木造校舎はほとんど赤色コンクリート瓦を使用していたようです。3 号館の南側の建物の屋根にその面影があります。 ←（旧校舎…よく見ると赤が少し残っている？）

*まだまだ、本校には“不思議”があるかもしれません。学校公開日には、是非ご来校の上、校内探検&歴史散策をしてみてください。